

X 線動態撮影による肺腫瘍呼吸性移動量計測の再現性に関する研究に関する
単施設後ろ向き観察研究へのご協力をお願い

作成日:2024年4月2日(第1版)

この研究は、通常の診療から得られた記録を使用して実施されます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接の同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施に関する情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会や学術論文等で公表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表されません。研究のためにご自身のデータが使用されることを望まれない方は、問い合わせ先担当者までお知らせください。

1. 研究名

X 線動態撮影による肺腫瘍呼吸性移動量計測の再現性に関する研究

2. 研究責任者, 共同研究者

研究責任者:北村一司(放射線部)

共同研究者:竹内康(放射線部), 上田幸弘(放射線部), 鶴長修匡(放射線部)

* 研究費, 報酬あるいは研究材料などを提供する公的あるいは私的な援助機関はありません

* 院外の者が当院内で研究に従事することはありません

3. 当該研究に関わる背景と目的, 意義

この研究の目的は、放射線治療に使われる X 線動態撮影(DCR)を使って、肺の腫瘍が呼吸によってどれだけ動くかを測定する方法の信頼性を調べることです。以前、北村らによって DCR を使った肺腫瘍の動きの測定が有用であることが示されましたが、その測定が一貫して行えるかどうかについてはまだ詳しく調べられていませんでした。この研究では、さまざまな人や方法を使って、DCR による測定の信頼性を検証します。

4. 対象と方法

当院で 2019 年 1 月から 2023 年 12 月までに肺の定位放射線治療を受けた患者を対象にします。その患者の前もって取得された DCR 画像を後から解析します。肺の腫瘍が呼吸によってどれだけ動くかを、いろいろな人や方法で測定し、その結果を専門家による測定や 4 次元呼吸同期 CT などの基準データと比較します。

5. 倫理上配慮すべき事項

この研究で使用される DCR 画像は、治療のために以前に取得されたものであり、追加の被ばくや不便はありません。

6. 個人を識別する情報の秘匿, 匿名の方法

この研究に参加する患者は、研究用の ID が割り当てられ、氏名と研究用 ID の対応表が作成されます。個人情報元データから取り除かれ、対応表のファイルはパスワードで保護されたコンピューターで安全に保存されます。

7. 研究の期間

許可日から 2027 年 3 月 31 日まで

8. 得られる結果の予測, 所期の目的を達成できる見込み

さまざまな人がいろんな方法で計測しても、移動量を正確に測定できる見込みがあります。

9. 結果発表の予定, その方法

研究計画の登録や研究結果の公表は原則として研究代表者が行い、すべての共著者は発表前に内容をレビューし、合意した者のみが参加します。研究結果は、日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会などの学会で口頭発表する予定です。

10. 研究費用等

本研究に関しては、研究資金は必要ありません。院外からの研究費等の供与もなく、検査にかかる患者さまの費用負担もありません。

11. 参考文献

* Kitamura K, Takayama K, Yamazaki R, et al. A new method for assessing lung tumor motion in radiotherapy using dynamic chest radiography. J Appl Clin Med Phys 2022;23:e13736. 10.1002/acm2.13736

12. 本研究の問い合わせ先

天理よろづ相談所病院 放射線部 北村 一司(研究責任者)

〒632-8552 奈良県天理市三島町 200 番地 TEL:0743-63-5611(大代表)